Search Manager

Ver.2.0.0

取扱説明書

アンドール株式会社®

もくじ

もくじ 1
はじめに 3
インストールの手順 4
環境構築の手順 8
ライセンスの登録 13
ユーザーインターフェイス 16
SolidWorks ファイル対応 19
SolidWorks ファイルの参照関係の維持 20
ファイル検索 21
新しいフォルダーの作成 25
直接編集 25
最新を取得 / 最新を取得して表示 25
チェックアウト / チェックアウト編集 26
チェックイン 28
チェックアウトの取り消し 29
切り取り 30
コピー 30
貼り付け 31
名前の変更 31
削除 31
プロパティ 32
表示タイプ 33

ファイルリストの更新 33
サムネイルキャッシュのクリア 33
リストビュー設定のクリア 34
ユーザー設定 35
インデックスのオプション 37
システムの設定 38
SolidWorks 参照関係の再取得 40
ヘルプ 40
ライセンス 41
バージョン情報 41

はじめに

この度は、**Search Manager** およびアンドール社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Search Manager は、Windows 7 以降の OS に標準搭載されている全文検索機能「**Windows サーチ**」を活用し、『検索条件の保存と再利用』『自動ツリー展開』などの独自の機能を追加し、誰でも簡単に導入・利用可能な全文検索クライアントソフトです
また、グループでサーバーデータを共有している場合の排他制御とローカルフォルダを有効活用し、複数ユーザーの同時編集によるファイルの競合を防ぐ為に、チェックイン・チェックアウト機能を搭載しています。

この取扱説明書は、**Search Manager** の機能並びに操作方法を説明しておりますので、他の取扱説明書やオンラインヘルプと併せてご活用ください。

■ **動作環境**

Search Manager をインストールするために、下記の要件に合った動作環境をご用意ください。

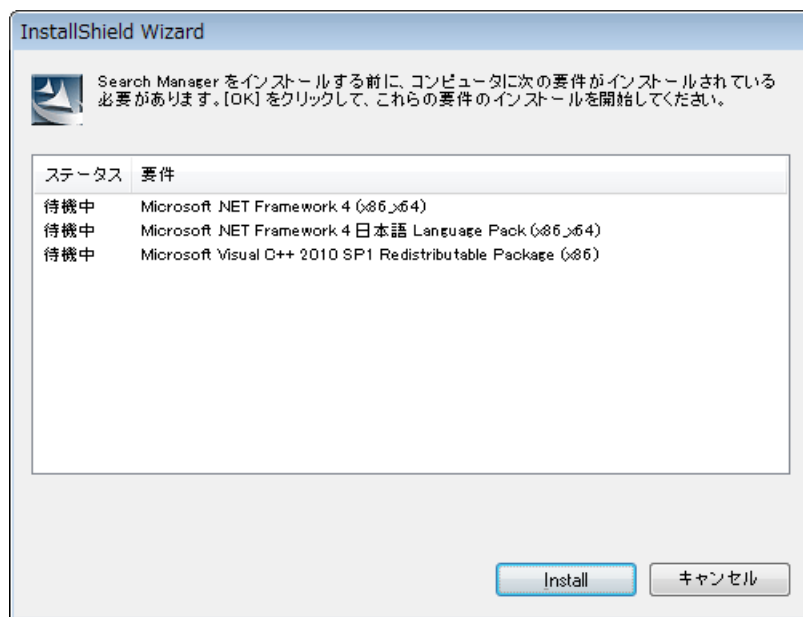
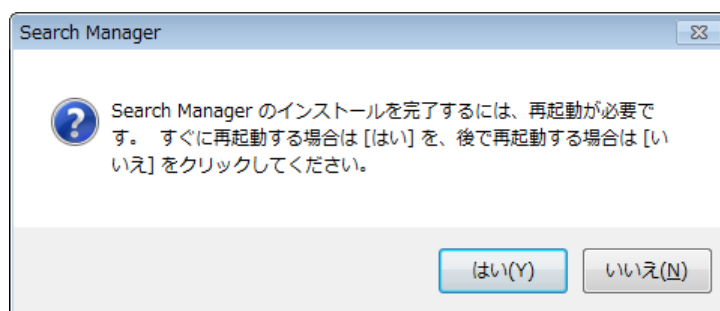
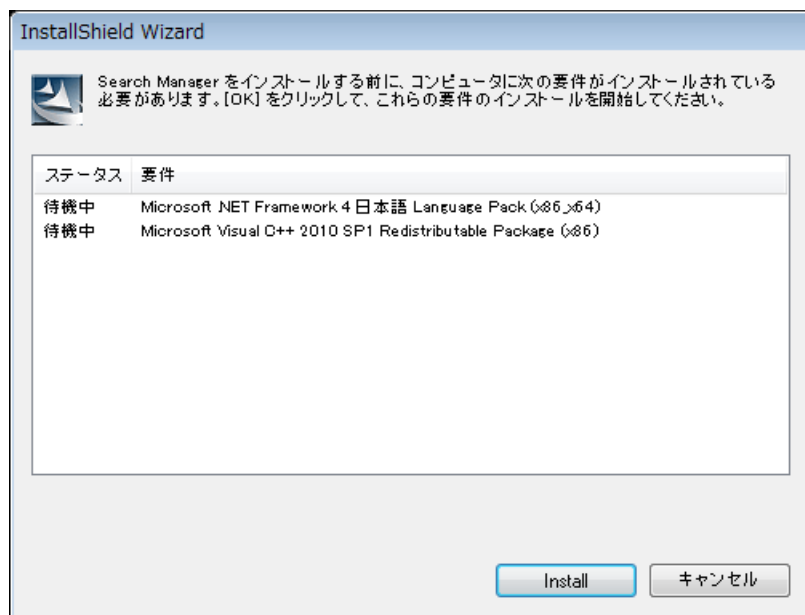
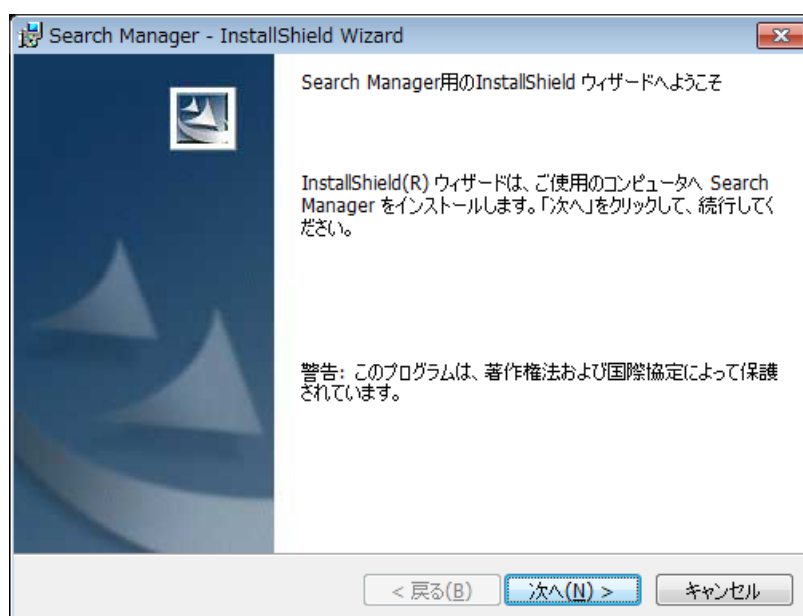
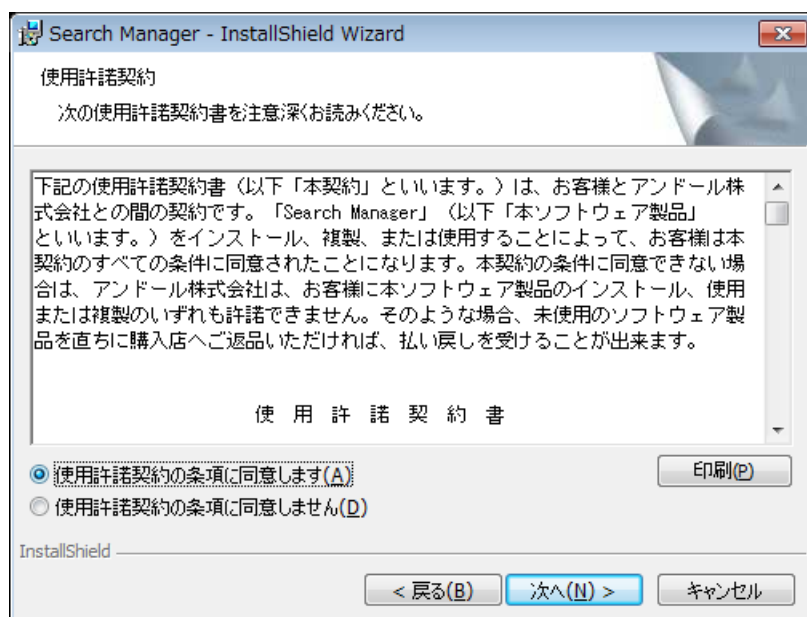
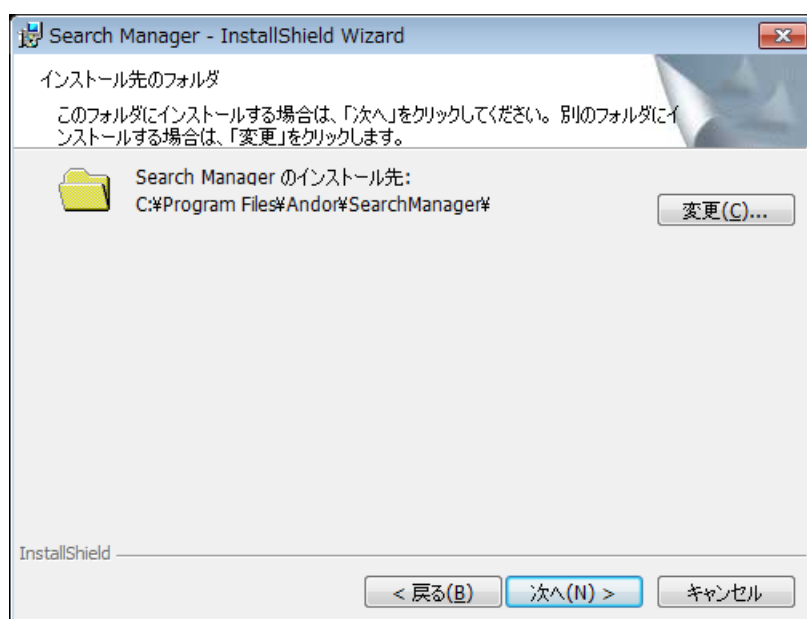
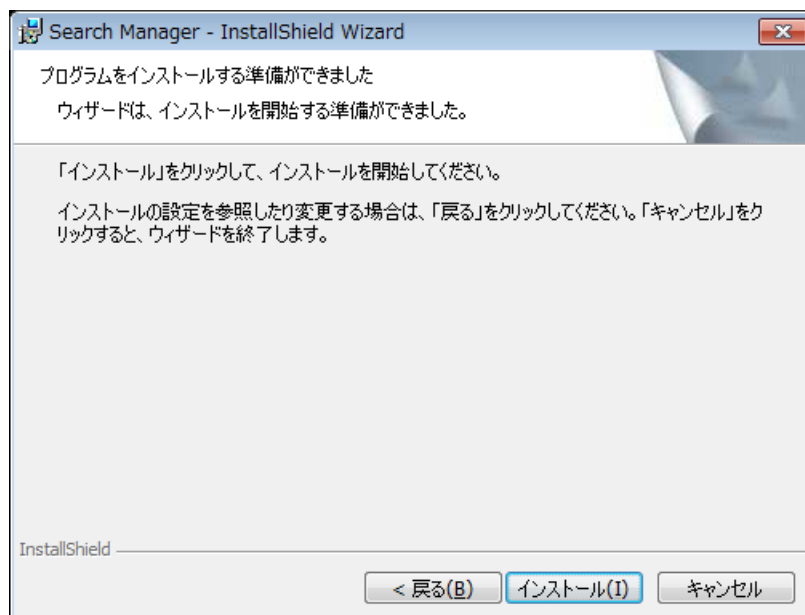
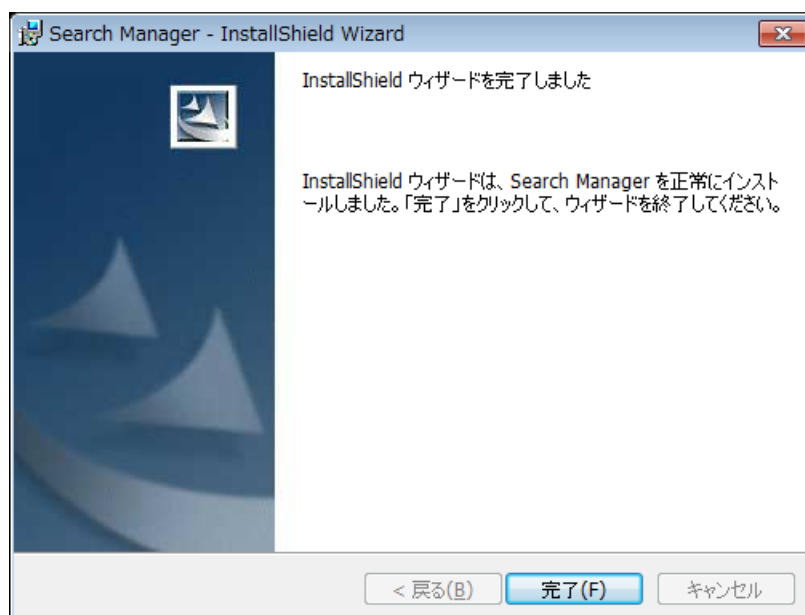
項目	スペック
CPU	Intel Pentium4 2.0GHz 以上
メモリ	1GB 以上（推奨：2GB 以上）
ハードディスク	1GB 以上
OS	Windows Vista, 7, 8, 8.1, Windows Server 2008, 2008R2, 2012
実行環境	Microsoft .NET Framework 4 Windows サーチ 各ファイル形式の IFilter

「Windows サーチ」「各ファイル形式の IFilter」については、別紙の補足資料をご参照ください。

インストールの手順

Search Manager をお客様の環境にインストールする方法について説明します。

■ **インストールを行うには、管理者権限を持つユーザーで Windows にログインしてください。**

Search Manager のセットアップを起動すると、
Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていない場合は、下記の画面が表示されます。

「Install」ボタンを押します。

Microsoft .NET Framework 4 のインストールを完了するために、Windows を再起動する必要がある場合があります。
「はい」ボタンを押して、Windows を再起動すると、**Search Manager** のセットアップが自動的に起動します。

「Install」ボタンを押します。

「次へ」ボタンを押します。

使用許諾契約書をお読みいただき「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、
「次へ」ボタンを押します。

インストール先フォルダーを指定できます。
変更する場合は「参照」をクリックしてインストールするフォルダーを選択してください。
「次へ」ボタンを押します。

「インストール」ボタンを押すと、インストールが開始されます。

「完了」ボタンを押して、セットアップを完了します。

環境構築の手順

Search Manager は、Windows 7 以降の OS に標準搭載されている全文検索機能「**Windows サーチ**」を使用してファイル検索を行うため、**Search Manager** と **Windows サーチ**の両方の設定を行う必要があります。

Search Manager を使用する前に下記の手順に従って、**Search Manager** と **Windows サーチ**の設定を行なってください。

1 Windows サーチの設定

1.1 IFilter のインストール

下記のファイル形式のインデックスを作成するためには、対応する IFilter をインストールしておく必要があります。
各種 IFilter の入手方法については、別紙の補足資料をご参照ください。

<table>
<tr><th>ファイル形式</th><th>拡張子</th><th>インストールする製品</th></tr>
<tr><td>FXⅡ図面</td><td>CSD ・ CSP</td><td rowspan="5">CADSUPER シェル拡張
(32bit 版 / 64bit 版)</td></tr>
<tr><td>FX 図面</td><td>FXD ・ FXS</td></tr>
<tr><td>JX 図面</td><td>任意</td></tr>
<tr><td>SX 図面</td><td>任意</td></tr>
<tr><td>EASYDRAW 図面</td><td>ED</td></tr>
<tr><td>SolidWorks アセンブリ</td><td>SLDASM</td><td rowspan="3">SolidWorks、
CADSUPER Works、
SolidWorks Explorer
(32bit 版 / 64bit 版)</td></tr>
<tr><td>SolidWorks 部品</td><td>SLDPRT</td></tr>
<tr><td>SolidWorks 図面</td><td>SLDDRW</td></tr>
<tr><td>Adobe PDF</td><td>PDF</td><td>Adobe Reader、
Adobe PDF IFilter
(32bit 版 / 64bit 版)</td></tr>
<tr><td>Word 文書</td><td>DOC ・ DOCX</td><td rowspan="4">Microsoft Office、または、
Microsoft Office 2010 フィルター パック
(32bit 版 / 64bit 版)</td></tr>
<tr><td>Excel 文書</td><td>XLS ・ XLSX</td></tr>
<tr><td>PowerPoint 文書</td><td>PPT ・ PPTX</td></tr>
<tr><td>Visio 図面</td><td>VSD ・ VSDX</td></tr>
</table>

これらの IFilter はインデックス作成時にファイルからテキスト情報を抽出するために利用されますので、IFilter はインデックスを作成する PC 環境にインストールします。
(例 : ファイルサーバー上の共有ファイルのインデックスを作成する場合は、ファイルサーバーに IFilter をインストールします。)

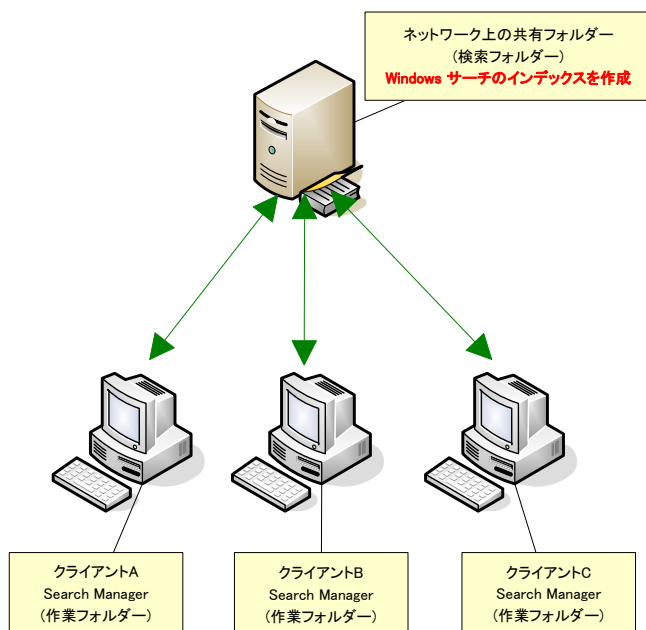
ワンポイント

新しい **IFilter** をインストールした場合は、[コントロールパネル]-[インデックスのオプション]にて、インデックスの再構築を行う必要があります。

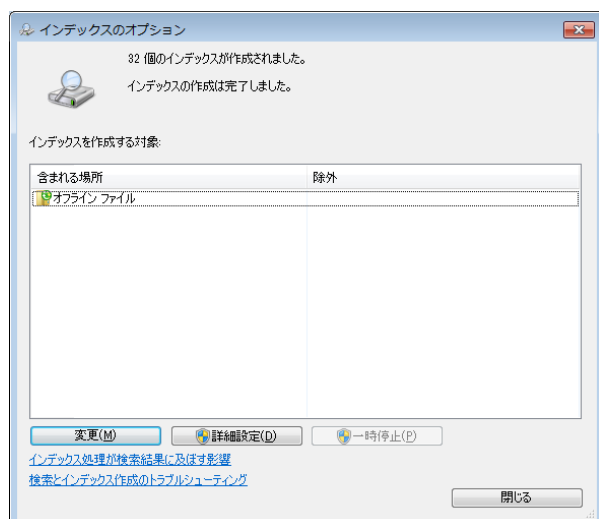
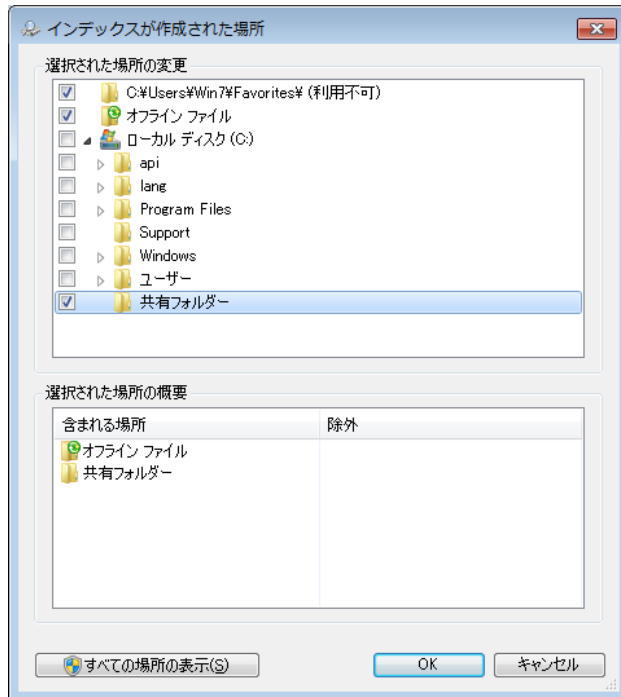
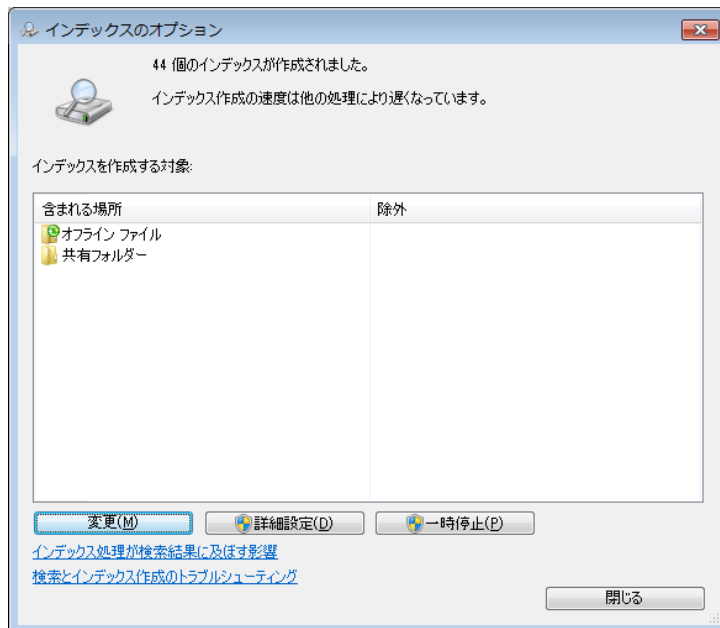
1.2　インデックスの作成

Windows サーチに検索フォルダーを登録してインデックスを作成します。
Search Manager では、インデックスが作成されたファイルのみ検索することができるようになります。

■　ネットワーク共有ファイルのインデックスの作成について

Windows サーチのインデックスは、検索ファイルの存在する PC 環境で作成する必要があります。
その為、ファイルサーバーのファイルは、ファイルサーバーの **Windows サーチ**に登録してインデックスを作成します。

ファイルサーバーの共有ファイルを検索する場合、各クライアント PC はファイルサーバーのインデックスを参照して検索することができる為、クライアントごとにインデックスを作成する必要はありません。

■　フォルダーの登録方法

① Windows の[コントロールパネル]-[インデックスのオプション]をクリックして、インデックスのオプションを表示します。

② [変更]ボタンをクリックして、検索するフォルダーにチェックを入れて[OK]ボタンを押します。

③ インデックスの作成が開始されます。

インデックスが作成されると、「インデックスの作成は完了しました。」と表示されます。

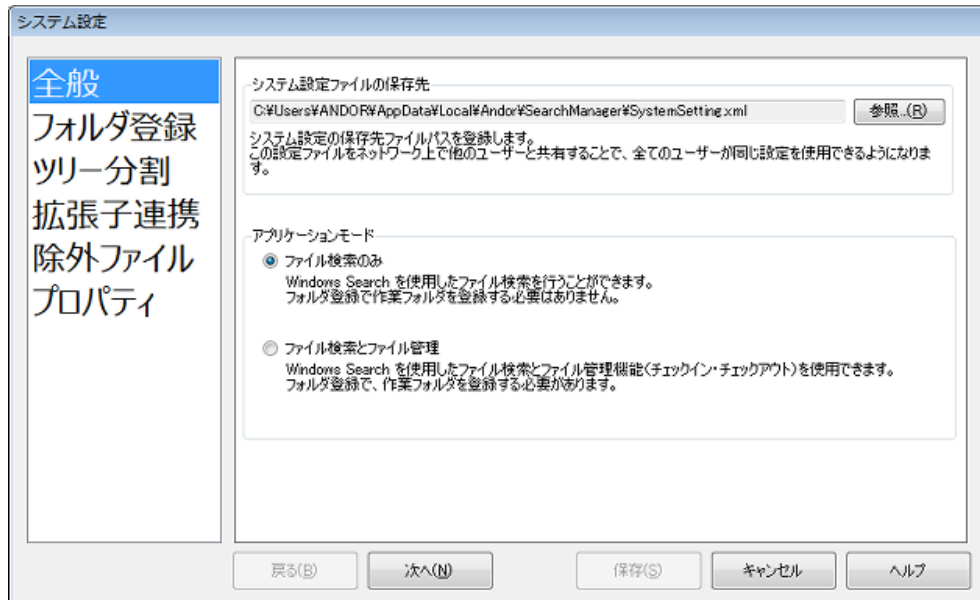
インデックスの作成が完了していない場合、Search Manager のファイル検索結果は正しくない場合があります。

2　Search Manager の設定

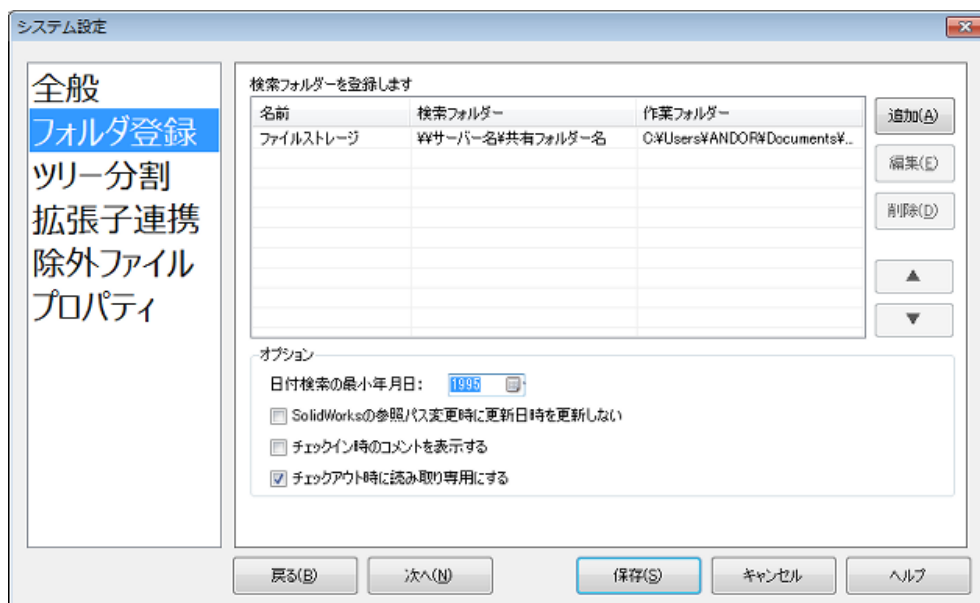
2.1　検索フォルダーの設定

Search Manager を使用する前に、ファイル検索するフォルダーを登録します。

■　アプリケーションモードの設定

①　[オプション]-[システム設定]をクリックして、システム設定ダイアログを表示します。

②　ファイル検索機能のみ使用する場合は、「ファイル検索のみ」を選択します。
ファイル管理機能（チェックイン・チェックアウト）を使用する場合は、「ファイル検索とファイル管理」を選択します。

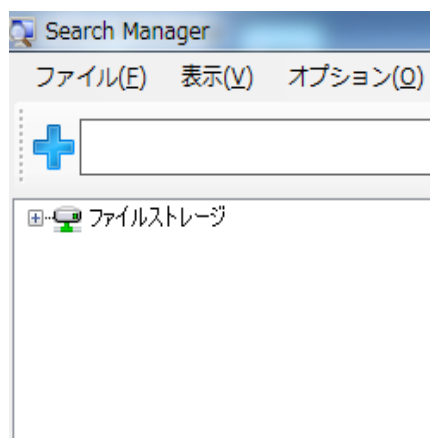
■　フォルダーの登録方法

①　「フォルダ登録」を選択します。

②　[追加]ボタンをクリックします。

③　名前、検索フォルダー、作業フォルダーを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

■ 作業フォルダーを入力しない場合、チェックアウト・チェックインなどの排他制御機能は使用できなくなります。

④ 検索フォルダー一覧に登録されますので、[OK]ボタンをクリックして、システム設定ダイアログを閉じます。

⑤ **Search Manager** のフォルダーツリータブに、登録した名前でツリーが表示されます。

ライセンスの登録

Search Manager のライセンスの申請、登録またはライセンス方法の設定を行います。
ただし、ライセンス申請を行うには、インターネットに接続されている環境が必要です。

■ Search Manager のライセンス期限と登録

Search Manager は、初回起動から 1 ヶ月間の試用期間では無料でご利用いただけます。
試用期間以降は、ライセンスの登録が必要となります。ただし、CADSUPER Works をご使用のユーザー様は保守契約に関係なく無償でご利用いただけます。

■ Search Manager のライセンス方法

Search Manager では、CADSUPER FXⅡ／Lite の保守契約期間中のユーザー様には、無償でライセンスを提供しています。また、その他のユーザー様には有償でライセンスを提供しています。
[ライセンス方法の切り替え]では、上記のライセンス方法を切り替えることができます。

保守契約期間中のユーザー（無償）

① **Search Manager** を起動して、[ヘルプ]-[ライセンス]をクリックします。

② ユーザー情報を入力して、[保守契約期間中のユーザー（無償）]を選択します。

③ ダイアログ左下の「ライセンス期限更新」ボタンをクリックします。

≪オンラインの場合≫

④ 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

⑤ 自動的にライセンスの有効期限を取得し、ライセンス期限のテキストボックスに日付が表示されます。

≪オフラインの場合≫

④ あらかじめローカルに保存したライセンス期限ファイル(.lic)をファイルオープンダイアログで選択します。ライセンス期限ファイルをお持ちでない場合、ANDOR のサポートページ（http://wcnt-tr.andor.co.jp/support/support/down/sm.asp）からライセンス期限ファイルをダウンロードして下さい。

⑤ 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

⑥ ライセンス期限ファイルからライセンスの有効期限を取得し、日付が表示されます。

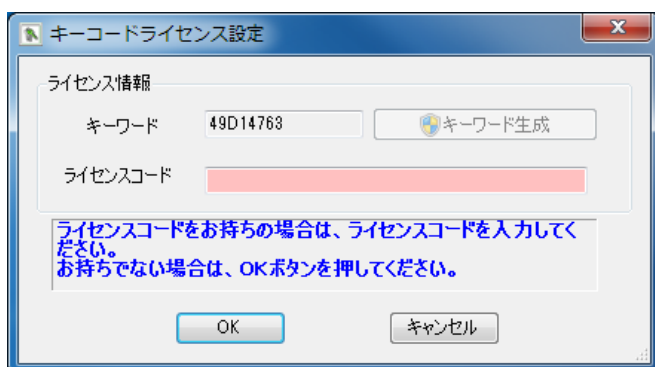
キーコードライセンスの発行（有償）

① **Search Manager** を起動して、[ヘルプ]-[ライセンス]をクリックします。

② ユーザー情報を入力して、「キーワードライセンス設定」ボタンをクリックします。

③ 「キーコードライセンス設定」ボタンを開き、[キーワード生成]ボタンをクリックします。

④ 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

⑤ キーワードが表示されます。このキーワードは、Search Manger の実行環境固有の文字列となります。

⑥ OK ボタンを押し、キーコードライセンス設定ダイアログを閉じます。

⑦ ユーザー情報に間違いがないかご確認の後、ライセンス設定ダイアログの左下にある「ライセンス申請」ボタンをクリックします。

ユーザー情報に入力していただいたメールアドレス宛に、キーコードライセンス発行のメールが送信されます。

※キーコードライセンスの発行には、ライセンス申請から数日かかる場合があります。

⑧ キーコードライセンス設定ダイアログを開いて、発行されたライセンスコードを入力します。

ライセンスコード入力後に「OK」ボタンをクリックして、キーコードライセンス設定ダイアログを閉じます。

⑨ 「ライセンス登録」ボタンをクリックします。

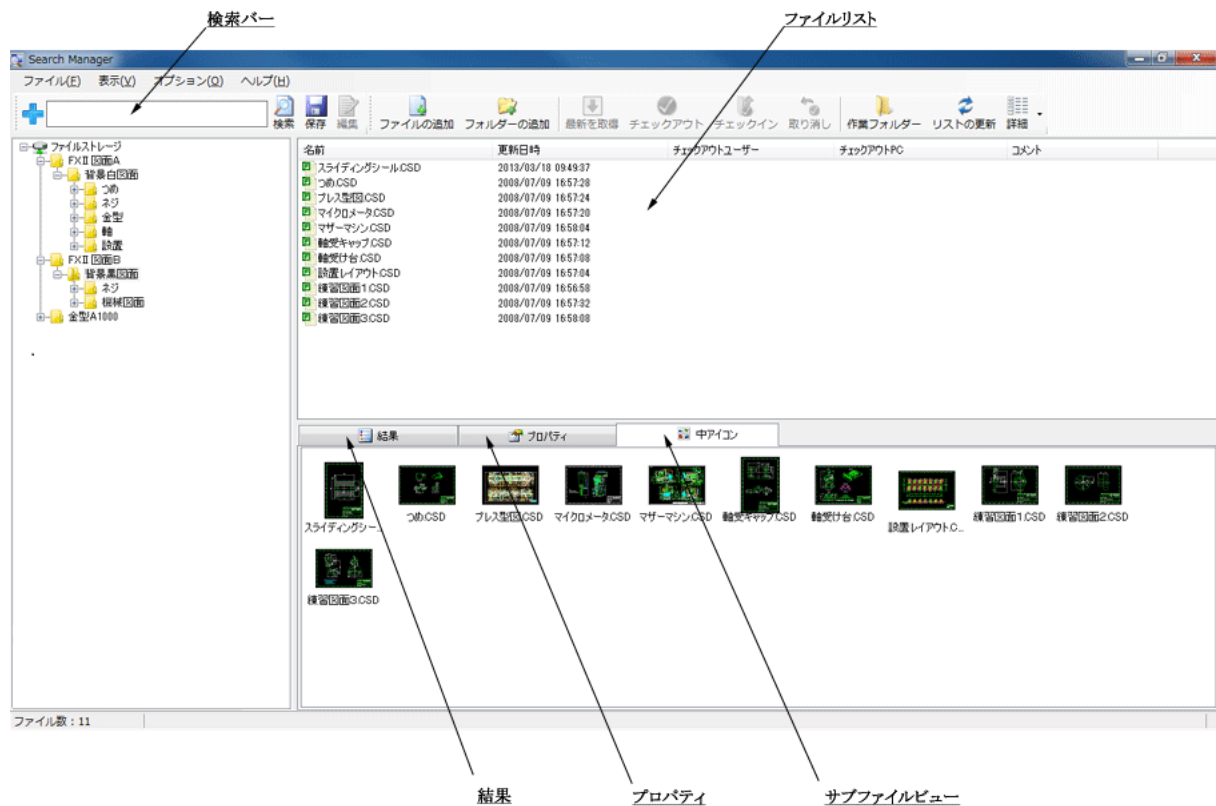
⑩ 確認メッセージの「はい」をクリックして、ライセンスを登録します。

⑪ 管理者権限昇格ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

⑫ キーコードライセンスが登録され、ライセンスの期限の日付が表示されます。

ワンポイント

ユーザー情報の入力項目の内、
「**お名前**」と「**メールアドレス**」および、「**キーワード生成**」は、必須です。

ユーザーインターフェイス

■ **検索ツリー ・ フォルダーツリー**

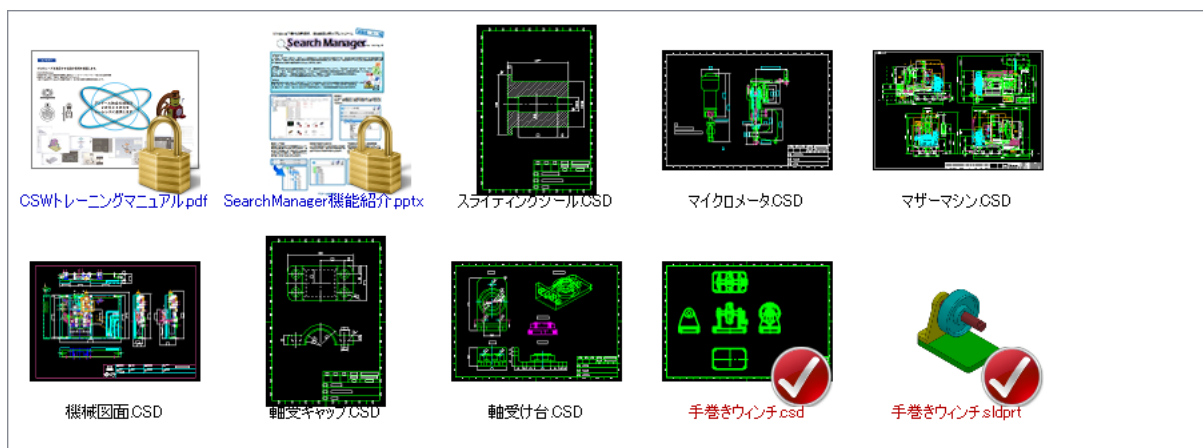
プラスマークをクリックするとサブフォルダーを表示し、マイナスマークをクリックするとサブフォルダーを閉じます。
ファイル検索については、20 ページの[**ファイル検索**]をご参照ください

■ **ファイルリストとサブリストビューの連動**

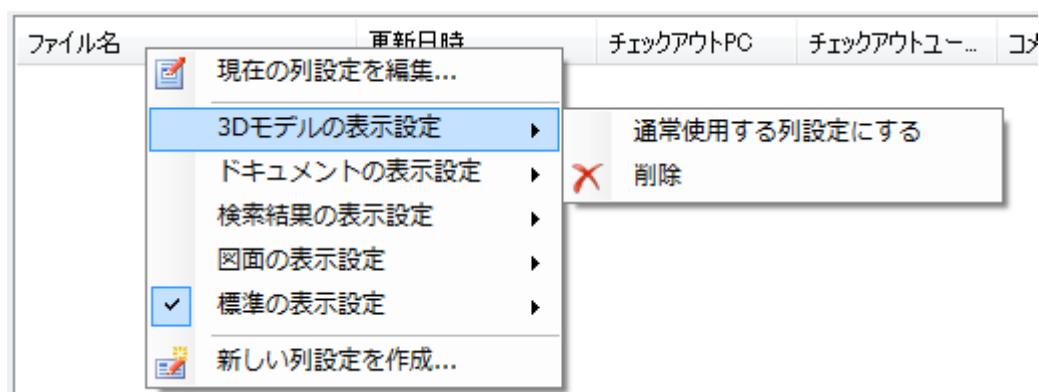
サブリストビューはファイルリストの表示形式に連動して表示形式が変わります。

ファイルリストが、 特大アイコン、 大アイコン、 中アイコンの場合、サブリストビューは詳細で表示されます。

ファイルリストが、小アイコン、一覧、詳細の場合、サブリストビューはサムネイルで表示されます。
サムネイルの設定はユーザー設定のサブリストビューの表示方法で設定します。

■ ファイルアイコン

アイコン	ステータス	説明
✔	チェックアウト （文字色：赤）	ユーザーがファイルをチェックアウトして編集中であることを表します。 このファイルを他のユーザーが編集することはできません。
🔒	読み取り専用 （文字色：青）	ファイルが読み取り専用に設定されていることを表します。 このファイルを編集することはできません。

■ 列設定の切り替え

カーソルをリストビューの列に合わせ右クリックを押すと、列を設定することができます。

・ **現在の列設定を編集**

現在表示されているリストビューの列を編集します。

・ **列設定の選択**

「新しい列設定を作成...」で作成した列設定が表示されます。
列設定をクリックすると、チェック ON となり、リストビューの列設定が切り替わります。

・ **通常使用する列設定にする**

チェックを ON にすると、初めて開くフォルダーや検索では、その列設定を使用してリストビューを表示します。

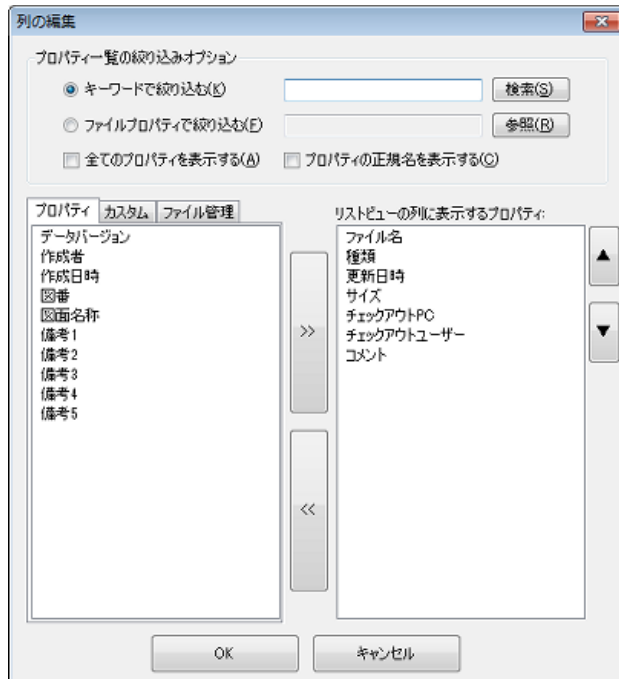
・ **削除**

列設定を削除します。

・ **新しい列設定を作成**

新しい列設定を作成します。

■ 列設定の編集

カーソルをリストビューの列に合わせ右クリックを押すと、列を設定することができます。

- **キーワードで絞り込む**
  プロパティ名・正規名を対象に検索キーワードでプロパティ一覧を絞り込みます。
- **ファイルプロパティで絞り込む**
  ファイルを指定して使用できるプロパティのみを表示します。
- **全てのプロパティを表示する**
  チェックを ON にすると、全てのプロパティを表示します。
- **プロパティの正規名を表示する**
  チェックを ON にすると、プロパティの正規名を表示します。
- **>>**
- リストビューの列にプロパティを追加します。
- **<<**
  リストビューの列からプロパティを削除します。

■ 結果

ファイル名	検索フォルダー	作業フォルダー	メッセージ
スライディングシール.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	ファイルが存在しません。
つめ.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	読み取り専用ファイルのため、処理をスキップしました。
練習図面3.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	チェックインしました。
練習図面2.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	チェックインしました。
練習図面1.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	チェックインしました。
設置レイアウト.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	チェックインしました。
軸受け台.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
軸受キャップ.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
機械図面.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
マザーマシン.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
マイクロメータ.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。
プレス型図.CSD	C:¥ファイルストレージ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	C:¥作業フォルダ¥FXⅡ 図面A¥背景白図面	更新日付が新しいファイルが存在する為、ファイル転送しませんでした。

コマンド実行後、コマンドの実行結果が結果パネルに出力されます。

ツールボタン

Search Manager では、実行結果を4つに分けて表示します。
表示内容は結果一覧の上部にあるツールボタンをクリックして、非表示に切り替えることができます。
また、ツールボタン名の横には、実行結果の件数が表示されます。

ツールボタン一覧

アイコン	ステータス	説明
	正常	処理が正常に実行されたことを表します。
	情報	処理が正常に実行されたが、表記すべき情報があることを表します。
	警告	処理条件と一致しないため、処理が実行されなかったことを表します。
	エラー	エラーが発生したため、処理が正常に実行されなかったことを表します。

■ **プロパティ**

ファイルのプロパティを表示します。詳細は、29 ページの[**プロパティ**]をご参照ください。

SolidWorks ファイル対応

構成部品や外部参照しているファイルを保持するアセンブリおよび図面は、参照先ファイルを連携させてコマンドを実行することができます。

■ **対応している SolidWorks バージョン**

- **32bit 版 Search Manager**
  SolidWorks 2009 ～ 2014 で保存された SolidWorks ファイルに対応しています。

- **64bit 版 Search Manager**
  SolidWorks 2009 以降のバージョンで保存された SolidWorks ファイルに対応しています。

■ **参照先ファイルと連携が可能なコマンド一覧**

コマンド	説明
最新を取得	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルの最新を取得します。
チェックアウト	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルをチェックアウトします。
チェックイン	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルをチェックインします。
チェックアウトの取り消し	選択したアセンブリ/図面ファイルと参照ファイルのチェックアウトを取消します。

■ **注意事項**

- SolidWorks 2015 以降のファイルを扱うには、64bit 版 Search Manager をご使用ください。

SolidWorks ファイルの参照関係の維持

この機能は、64bit 版 Search Manager のみの機能となります。

SolidWorks のファイルが参照しているファイルを移動した場合、
Search Manager が自動的に SolidWorks ファイル内部に保存されている参照パスを更新して、参照関係を維持します。

■ **SolidWorks 2009 以降のバージョンで保存された下記のファイルに対応しています。**

- SolidWorks アセンブリファイル（ *.SLDASM ）
- SolidWorks 部品ファイル（ *.SLDPRT ）
- SolidWorks 図面ファイル（ *.SLDDRW ）

■ **機能の説明**

- **[SolidWorks 参照関係の再取得]**
  はじめに、[オプション] - [SolidWorks 参照関係の再取得] を実行して、全ての SolidWorks ファイルの参照関係を取得しておく必要があります。
  SolidWorks 参照関係の取得は、初回に 1 度だけ実行すれば良く、以降は Search Manager を使用して SolidWorks ファイルの操作を行うと、常時更新されます。
  ただし、システム設定で、フォルダ登録を変更した場合には、再度 SolidWorks 参照関係の再取得 を実行する必要があります。
- **コピー ― 貼り付け**
  SolidWorks ファイルのコピーを行うと、コピーしたファイルの参照関係を取得します。
  SolidWorks ファイルを含むフォルダの場合も、同様です。

- **切り取り ― 貼り付け**
  SolidWorks ファイルの移動を行うと、移動ファイルを参照しているファイルがあれば、参照パスを更新して参照関係を維持します。
  SolidWorks ファイルを含むフォルダの場合も、同様です。

- **名前の変更**
  SolidWorks ファイルの名前を変更を行うと、変更ファイルを参照しているファイルがあれば、参照パスを更新して参照関係を維持します。
  SolidWorks ファイルを含むフォルダの場合も、同様です。

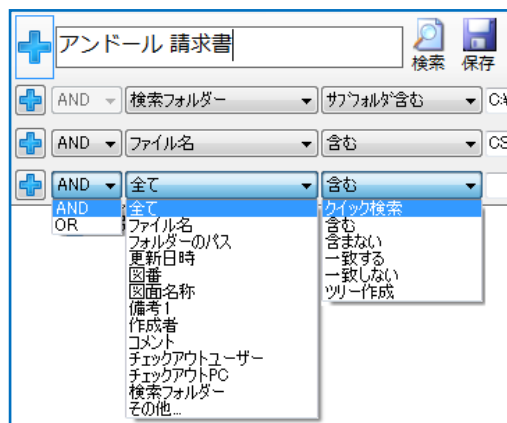
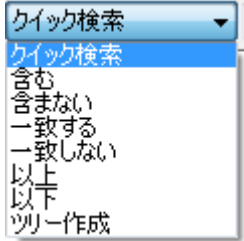
- **SolidWorks ファイルの「保存」**
  ファイル検索のみモードの場合に、SolidWorks アプリケーションでフォルダ登録下にファイル保存を行うと、参照関係を取得します。
  ただし、SolidWorks アプリケーション側で、「Search Manager アドイン」を有効（チェック ON）にする必要があります。（デフォルトで有効）

- **チェックイン**
  ファイル検索とファイル管理モードの場合に、ファイルのチェックインを行うと、参照関係を取得します。
  SolidWorks ファイルを含むフォルダの場合も、同様です。

■ **注意事項**

- この機能は、64bit 版 Search Manager のみの機能となります。
- ファイル数が多い場合、参照関係の維持にはしばらく時間がかかる場合があります。
- Search Manager で検索・管理していないフォルダーに置いてある SolidWorks ファイルの参照関係は維持されません。
- 参照関係を維持するには、システム設定で、フォルダ登録を行い、 SolidWorks 参照関係の再取得 を実行した後、ファイル移動を行う必要がります。

ファイル検索

検索ツールバーに検索キーワードを入力することで、ファイルを検索することができます。

■ **ファイルの検索**

① 検索ツールバーに検索キーワード入力します。
　 また、複数の検索キーワード間に空白(スペース)を入れることで、AND 検索を行います。

② Enter キーを押すか、または、[検索]ボタンをクリックすると、検索キーワードに一致するファイルをリスト表示します。

■ **詳細検索**

・・・ 詳細検索パネルの表示・非表示を切り替えます。

検索ツールバー直下に表示される詳細検索パネルにて、詳細な検索条件を設定することができます。

	新しい検索条件を追加します。
AND AND OR	AND 検索、OR 検索を切り替えます。
全て 全て ファイル名 更新日時 チェックアウトPC チェックアウトユーザー コメント 検索フォルダー その他...	検索する属性(プロパティ)を選択します。 ただし、ファイル管理プロパティ(チェックアウト PC ・ チェックアウトユーザー・コメント)と、ファイルプロパティ(ファイル名・更新日付など)を組み合わせて検索することはできません。

クイック検索 クイック検索 含む 含まない 一致する 一致しない 以上 以下 ツリー作成	検索条件を選択します。
	検索条件を削除します。

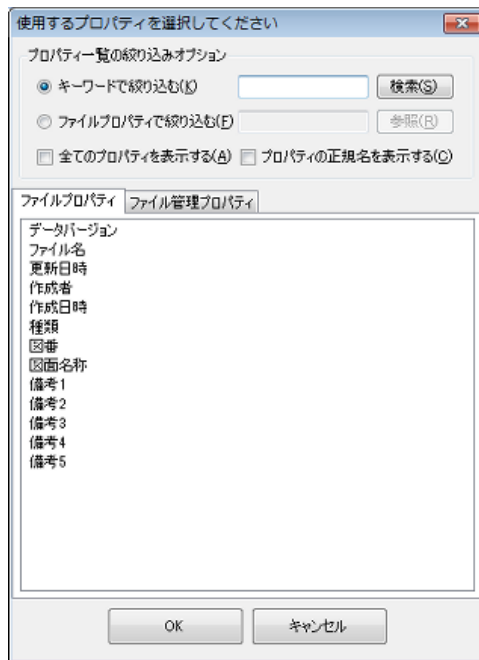
■　**検索した値でツリーを作成する**

検索する属性を指定すると、検索条件のコンボボックスで「ツリー作成」が選択可能になります。
「ツリー作成」を選択して検索を実行すると、検索ツリーに表示します。
ハイフンやコンマなどの任意の文字で属性の値を区切っている場合、この文字をシステム設定で登録すると、 区切り文字で値を分割してツリーを作成することが可能です。

■　**検索条件の初期設定**

ユーザー設定で、デフォルトの検索結果をツリー表示にすることができます。
33 ページの[**ユーザー設定**]をご参照ください。

■　**属性（プロパティの設定）**

検索条件の属性（プロパティ）項目でその他を選択するとダイアログが開き、コンボボックスに表示されていない属性を選ぶことができます。
検索条件の属性は、ファイルプロパティとファイル管理プロパティから選択することができます。

・キーワードで絞り込む
入力したキーワードに関連がある属性(プロパティ)を検索することができます。
検索結果は、下部の各プロパティタブ上に表示されます。

・ファイルプロパティで絞り込む
ファイルを指定して使用できるプロパティのみを表示します。
・全てのプロパティを表示する
設定できる全てのプロパティを下部のプロパティタブ上に表示します。

・プロパティの正規名を表示する
属性(プロパティ)の正規名を表示します。

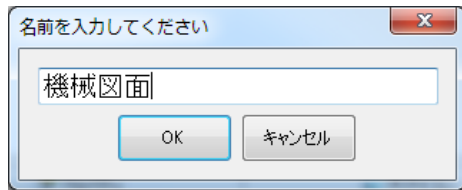
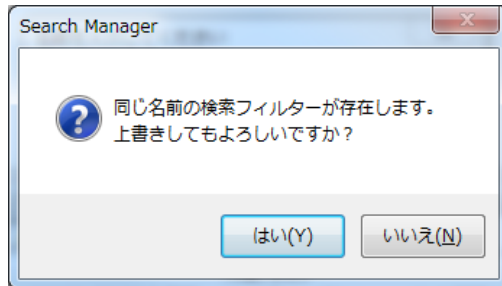
■ 任意の文字を含んだキーワード検索

検索条件が「クイック検索」、または「含む」「含まない」を選択している場合、検索キーワードに ＊ または、？ を用いると任意の文字を含んだキーワードを検索することが可能です。

- ＊ ・・・ 0個以上の任意の文字を含んだキーワードを検索することができます。
- ？ ・・・ 任意の1文字を含んだキーワードを検索することができます。

■ 検索条件の保存

① 検索ツールバーに検索キーワード入力します。
また、詳細な検索を行う場合は、検索ツールバー直下に表示される詳細検索パネルにて、検索条件を設定します。

② [保存]ボタンをクリックし、検索条件の名前を指定すると、現在の検索条件を検索ツリーに保存することができます。

同じ名前のフィルターが存在する場合、以下のダイアログボックスが表示されます。

「はい」をクリックすると、既存の同名フィルターに上書き保存されます。

■ **検索条件の編集**

① 保存したフィルターを選択し、[編集]ボタンをクリックします。
選択したフィルターの検索条件が検索ツールバーに表示され、検索条件の変更ができます。

② 検索条件の変更後、[編集]ボタンをクリックします。
変更がある場合、ダイアログが表示されます。

③ [はい]をクリックすると、変更した検索条件が上書きされます。
[いいえ]をクリックすると、変更は取り消しになります。

■ **注意事項**

- インデックスの作成が完了していない場合、検索結果が正しくない場合があります。
- ネットワーク共有フォルダーやネットワークドライブの場合は、ファイルサーバー側に検索用のインデックスを作成しておく必要があります。
- 検索ツールバー、および、クイック検索では、空白文字のみの検索を行うことはできません。
- 複数の検索フォルダーを検索条件に入れる場合は、OR 検索となります。
- ツリー作成の検索条件は、AND 検索となります。

新しいフォルダーの作成

新しいフォルダーを作成します。

■ **コマンドの操作**

① [フォルダーツリー]を表示します。

② 作成先フォルダーを選択後、右クリックメニューを表示し、[新しいフォルダーの作成]をクリックします。

③ 新しいフォルダーの名前を入力して、Enter キーを押します。

■ **注意事項**

・ 同じ名前のフォルダーを作成することはできません。
・ フォルダー名禁止文字 ￥ / ： ＊ ？ " < > | は、使用できません。

直接編集

ファイル拡張子に関連付けられたアプリケーションでファイルを直接開きます。

■ **コマンドの操作**

① 編集するファイルを選択します。

② 右クリックメニューを表示して、[直接編集]をクリックします。

③ 関連付けられたアプリケーションでファイルを作業フォルダーにコピーしないで、直接開きます。

■ **注意事項**

・ ファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しない場合アプリケーションは起動しません。
・ 本コマンドで、チェックアウトされているファイルを編集することはできません。
・ ファイルをダブルクリックした場合の動作は、ユーザー設定で変更することができます。

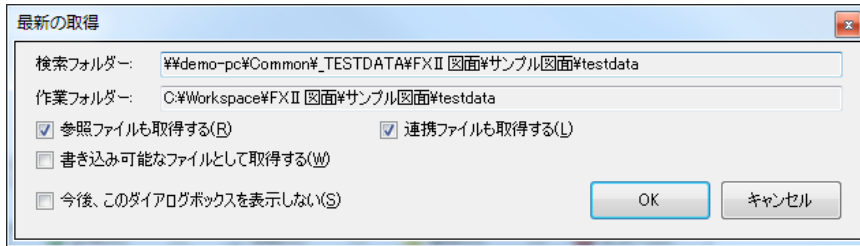
最新を取得 / 最新を取得して表示

検索フォルダーにあるファイルを作業フォルダーにコピーします。

■ **コマンドの操作**

① ファイル、または、フォルダーを選択します。

② 右クリックメニューを表示し、[最新を取得]をクリックします。
最新を取得後に、アプリケーションで表示する場合は、[最新を取得して表示]をクリックします。

③ 最新の取得ダイアログにて、[OK]ボタンをクリックします。

■ **機能の説明**

- **参照ファイルも取得する**
  SolidWorks ファイルの構成部品や外部参照しているファイルも取得します。

- **連携ファイルも取得する**
  システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルも取得します。
  詳細は、システム設定をご参照ください。

- **書き込み可能なファイルとして取得する**
  チェックを ON にすると、作業フォルダーに書き込み可能なファイルとしてコピーします。

- **今後、このダイアログボックスを表示しない**
  以降、最新の取得ダイアログを表示しなくなります。
  再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ **注意事項**

- [最新を取得]で取得すると、作業フォルダーのファイルは、デフォルトで読み取り専用となります。
- [最新を取得して表示]コマンドは、ファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しない場合、アプリケーションは起動しません。
- 通常、「最新の取得」は、ファイル参照のために使用します。
  ファイルを編集するには、「編集」コマンド、または、「チェックアウト」コマンドを使用します。

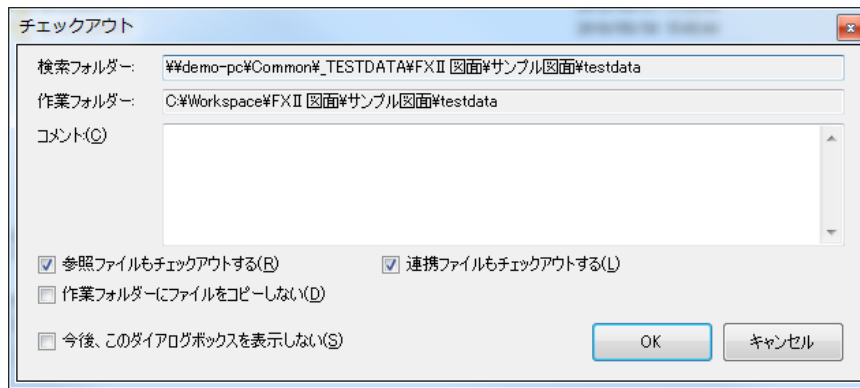
チェックアウト / チェックアウト編集

検索フォルダーにあるファイルを作業フォルダーにコピーし、他ユーザーが編集できないように排他制御を行います。

■ **コマンドの操作**

① ファイル、または、フォルダーを選択します。

② 右クリックメニューを表示し、[チェックアウト]をクリックします。
チェックアウト後に、アプリケーションで表示する場合は、[チェックアウト編集]をクリックします。

③ チェックアウトダイアログにて、チェックアウトした理由などのコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

■ 機能の説明

- **参照ファイルもチェックアウトする**
  SolidWorks ファイルの構成部品や外部参照しているファイルもチェックアウトします。

- **連携ファイルもチェックアウトする**
  システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルもチェックアウトします。
  詳細は、システム設定をご参照ください。

- **作業フォルダーにファイルをコピーしない**
  既に作業フォルダーに編集済みファイルが存在する場合などで、ファイル転送を行わずチェックアウトのみ行いたいときにチェックを入れます。

- **今後、このダイアログボックスを表示しない**
  以降、チェックアウトダイアログを表示しなくなります。
  再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ 注意事項

- [チェックアウト]を実行できるのは、チェックアウトされていないファイルのみです。
  また、読み取り専用ファイルをチェックアウトすることはできません。
- [チェックアウト]で取得すると、作業フォルダーのファイルは、書き込み可能なファイルとなります。
- [チェックアウト編集]コマンドは、ファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しない場合、アプリケーションは起動しません。
- [チェックアウト]を実行すると、他のユーザーはそのファイルをチェックアウトすることができなくなります。
- 作業フォルダーに、書き込み可能なファイル、または、更新日付が新しいファイルが存在する場合、上書き確認メッセージが表示されます。
- [チェックアウト]を実行時に、検索フォルダーのファイルを読み取り専用にする場合、システム設定で変更することができます。

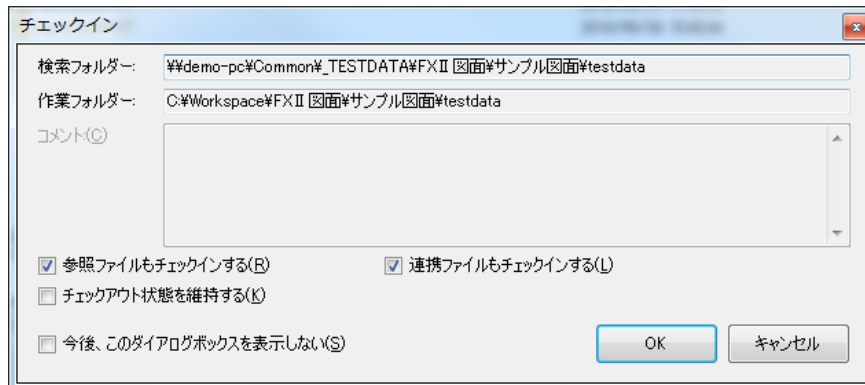
チェックイン

チェックアウトしたファイルを検索フォルダーにコピーし、検索ファイルを更新します。

■ **コマンドの操作**

① チェックアウトしたファイル、または、チェックアウトしたファイルを含むフォルダーを選択します。

② 右クリックメニューを表示し、[チェックイン]をクリックします。

③ チェックインダイアログにて、[OK]ボタンをクリックします。

■ **機能の説明**

・ **参照ファイルもチェックインする**
SolidWorks ファイルの構成部品や外部参照しているファイルもチェックインします。

・ **連携ファイルもチェックインする**
システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルもチェックインします。
詳細は、システム設定をご参照ください。

・ **チェックアウト状態を維持する**
チェックインした後も引き続きファイルの編集作業を行えるように、チェックアウトしたままにします。

・ **今後、このダイアログボックスを表示しない**
以降、チェックインダイアログを表示しなくなります。
再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ **注意事項**

・ [チェックイン]を実行できるのは、自分がチェックアウトしたファイルのみです。
・ [チェックイン]で取得すると、作業フォルダーのファイルは、読み込み専用ファイルとなります。
・ [チェックイン]を実行すると、他のユーザーはそのファイルをチェックアウトできるようになります。
・ 検索フォルダーに、更新日付が新しいファイルが存在する場合、上書き確認メッセージが表示されます。

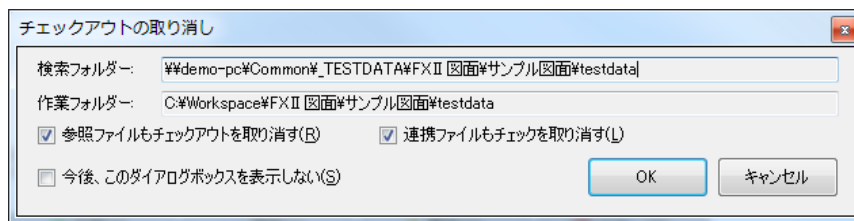
チェックアウトの取り消し

チェックアウトしたファイルのチェックアウト状態を解除し、作業ファイルの編集を取り消します。

■ コマンドの操作

① チェックアウトしたファイル、または、チェックアウトしたファイルを含むフォルダーを選択します。

② 右クリックメニューを表示し、[チェックアウトの取り消し]をクリックします。

③ チェックアウトの取り消しダイアログにて、[OK]ボタンをクリックします。

■ 機能の説明

・ 参照ファイルもチェックアウトの取り消しする
SolidWorks ファイルの構成部品や外部参照しているファイルもチェックアウトを取り消します。

・ 連携ファイルもチェックアウトの取り消しする
システム設定で設定しているファイル連携機能を使用して、連携しているファイルもチェックアウトを取り消します。
詳細は、システム設定をご参照ください。

・ 今後、このダイアログボックスを表示しない
以降、チェックアウトの取り消しダイアログを表示しなくなります。
再度表示したい場合は、ユーザー設定にて、表示に設定します。

■ 注意事項

・ [チェックアウトの取り消し]を実行できるのは、自分がチェックアウトしたファイルのみです。
・ [チェックアウトの取り消し]を実行しても、作業フォルダーのファイルは変更しません。
・ [チェックアウトの取り消し]を実行すると、他のユーザーはそのファイルをチェックアウトできるようになります

切り取り

選択したファイル・フォルダーを切り取ります。

■ **コマンドの操作**

① ファイル、または、フォルダーを選択します。
② 右クリックメニューを表示し、[切り取り]をクリックします。
③ 貼り付け先フォルダーを表示して、右クリックメニューを表示し、[貼り付け]をクリックします。

■ **注意事項**

- 貼り付け先に同じ名前のファイルが存在する場合、上書き確認のメッセージボックスが表示されます。
- 貼り付け先に同じ名前の読み取り専用ファイルが存在する場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- 貼り付け先の同じ名前のファイルを他のアプリケーションが開いている場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- 64bit版 Search Manager の場合、SolidWorksファイルの参照パスを更新して、参照関係を維持します。

コピー

選択したファイル・フォルダーをコピーします。

■ **コマンドの操作**

① ファイル、または、フォルダーを選択します。
② 右クリックメニューを表示し、[コピー]をクリックします。
③ 貼り付け先フォルダーを表示して、右クリックメニューを表示し、[貼り付け]をクリックします。

■ **注意事項**

- 貼り付け先に同じ名前のファイルが存在する場合、上書き確認のメッセージボックスが表示されます。
- 貼り付け先に同じ名前の読み取り専用ファイルが存在する場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- 貼り付け先の同じ名前のファイルを他のアプリケーションが開いている場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- 64bit版 Search Manager の場合、SolidWorksファイルの参照パスを更新して、参照関係を維持します。

貼り付け

切り取り、コピーしたファイル・フォルダーを現在のフォルダに貼り付けます。

■ **コマンドの操作**

④ ファイル、または、フォルダーを選択します。
⑤ 右クリックメニューを表示し、[コピー]、または、[切り取り]をクリックします。
⑥ 貼り付け先フォルダーを表示して、右クリックメニューを表示し、[貼り付け]をクリックします。

■ **注意事項**

- 貼り付け先に同じ名前のファイルが存在する場合、上書き確認のメッセージボックスが表示されます。
- 貼り付け先に同じ名前の読み取り専用ファイルが存在する場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- 貼り付け先の同じ名前のファイルを他のアプリケーションが開いている場合、ファイルの上書きは失敗し、再試行のメッセージボックスが表示されます。
- 64bit 版 Search Manager の場合、SolidWorks ファイルの参照パスを更新して、参照関係を維持します。

名前の変更

選択アイテムの名前を変更します。

■ **コマンドの操作**

⑦ ファイル、フォルダー、または、検索条件をクリックして、選択状態にします。
⑧ 右クリックメニューを表示し、[名前の変更]をクリックします。
⑨ 名前を入力して、選択アイテムの名前を変更します。

■ **注意事項**

- 同じフォルダーに既に同名のファイルが有る場合は、名前を変更することはできません。
- フォルダー名、ファイル名には、禁止文字 ￥ / : * ? " < > | は、使用できません。

削除

選択アイテムを削除します。

■ **コマンドの操作**

① ファイル、フォルダー、または、検索条件をクリックして、選択状態にします。

② 右クリックメニューを表示し、[削除]をクリックします。

③ 確認メッセージで、「はい」をクリックすると、選択アイテムが削除されます。

■ **注意事項**

・ 読み取り専用ファイルを削除することはできません。

・ 削除したファイル、フォルダー、または、検索条件は、復元することができません。
ご注意ください。

プロパティ

フォルダー・ファイルのプロパティを表示します。

■ **コマンドの操作**

① ファイル、または、フォルダーをクリックして、選択状態にします。

② 右クリックメニューを表示し、[プロパティ]をクリックします。

③ ファイルの場合、プロパティタブがアクティブとなり、ファイルプロパティ、または、カスタムプロパティの一覧が表示されます。
フォルダーの場合、プロパティダイアログが表示されます。

■ **機能の説明**

・ **ファイルプロパティ**
選択ファイルのファイルプロパティの一覧を表示します。

・ **カスタムプロパティ**
選択ファイルが Office 系ファイルの場合は、カスタムプロパティ(ユーザー設定プロパティ)の一覧を表示します。
SolidWorks ファイルの場合は、ユーザー定義プロパティを表示します。
また、プロパティの値を変更することができます。

・ **プロパティの変更を適用する**
Office 系ファイルや SolidWorks ファイルの場合に、カスタムプロパティの値を編集すると有効になります。
ボタンをクリックすると、カスタム設定の値を保存されます。

・ **プロパティダイアログの表示**
ボタンをクリックすると、ファイルのプロパティダイアログを表示します。

・ **リスト**
プロパティの名前、値、種類を表示します。

■ **注意事項**

・ ファイルをアプリケーションが開いている場合、カスタムプロパティは表示されません。

表示タイプ

ファイルリストのサムネイル表示・詳細表示を切り替えます。

■ **コマンドの操作**

① フォルダーの選択、または、検索を実行して、ファイルリストを表示します。

② [表示タイプ]の内、「特大アイコン」「大アイコン」「中アイコン」「小アイコン」「リスト」「詳細」のいずれかを選択します。

■ **注意事項**

- メインリストが「特大アイコン」「大アイコン」「中アイコン」の場合、サブリストは「詳細」表示となります。
- 「特大アイコン」「大アイコン」「中アイコン」で表示できるファイル数は、ユーザー設定で設定できます。検索結果が設定したファイル数より多い場合、「詳細」表示でリスト表示されます。

ファイルリストの更新

ファイルリストを更新します。

■ **コマンドの操作**

① フォルダーの選択、または、検索を実行して、ファイルリストを表示します。

② [リストの更新]、または、右クリックメニューから[ファイルリストの更新]をクリックします。

■ **注意事項**

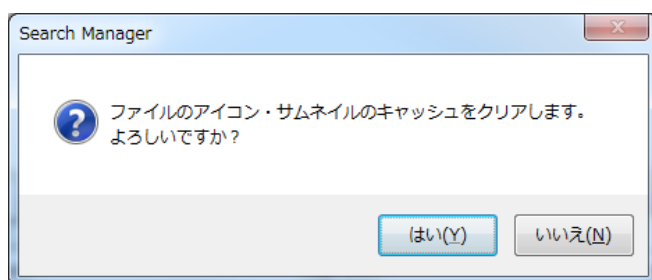
- [ファイルリストの更新]コマンドは、ファイルの更新日付が新しくなっている場合にのみ、リスト表示が更新されます。
- アイコン・サムネイルを強制更新したい場合は、キャシュのクリアを実行してください。

サムネイルキャッシュのクリア

アイコン・サムネイルのキャッシュデータを削除します。

■ **コマンドの操作**

① [表示]-[キャシュのクリア]をクリックします。

② 「はい」をクリックします。

③ ファイルのアイコンとサムネイルのキャッシュが削除され、ファイルリストが再読み込みされます。

■ **注意事項**

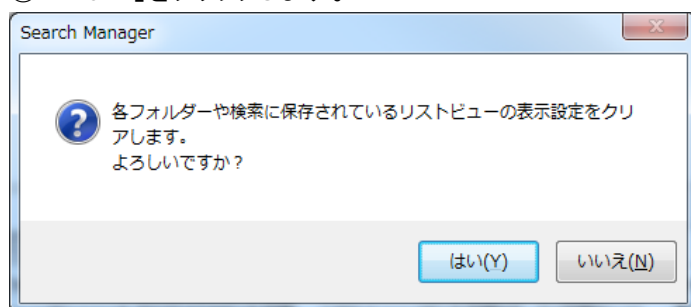
- サムネイルが更新されない場合や、ファイルアイコンが正しくない場合に、このコマンドを使用します。
- キャッシュをクリアすると、ファイルの表示に時間がかかる場合があります。

リストビュー設定のクリア

各フォルダー・検索に保存されているリストビューの表示設定をクリアします。

■ **コマンドの操作**

① [表示]-[リストビュー設定のクリア]をクリックします。

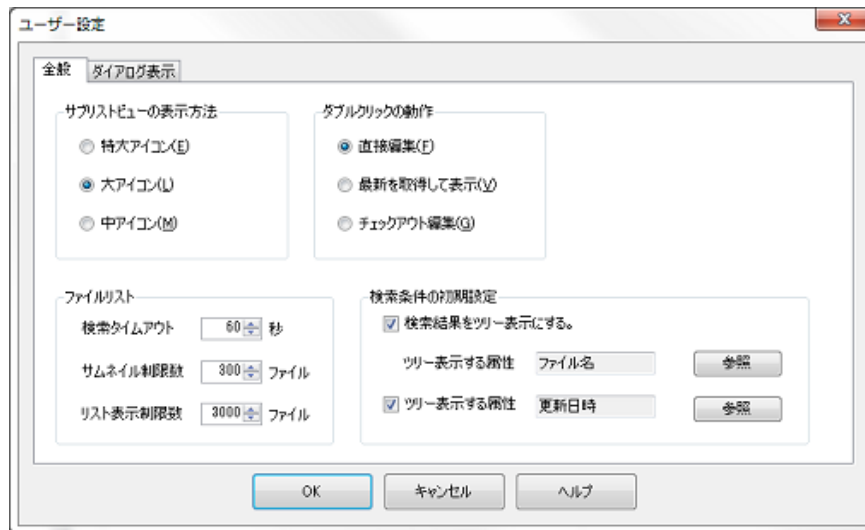
② 「はい」をクリックします。

③ 各フォルダー・検索に保存されているリストビューの表示設定がクリアされ、ファイルリストが再読み込みされます。

■ **注意事項**

- リストビューの表示設定をクリアしても、列設定はクリアされません。
- リストビューの表示設定をクリアすると、デフォルトの列設定を使用してリスト表示します。

ユーザー設定

ユーザー固有の設定を編集します。

■ 全般

- **サブリストビューの表示方法**
  サブリストビューのサムネイル表示を[特大アイコン]、[大アイコン]、[中アイコン]から選択します。

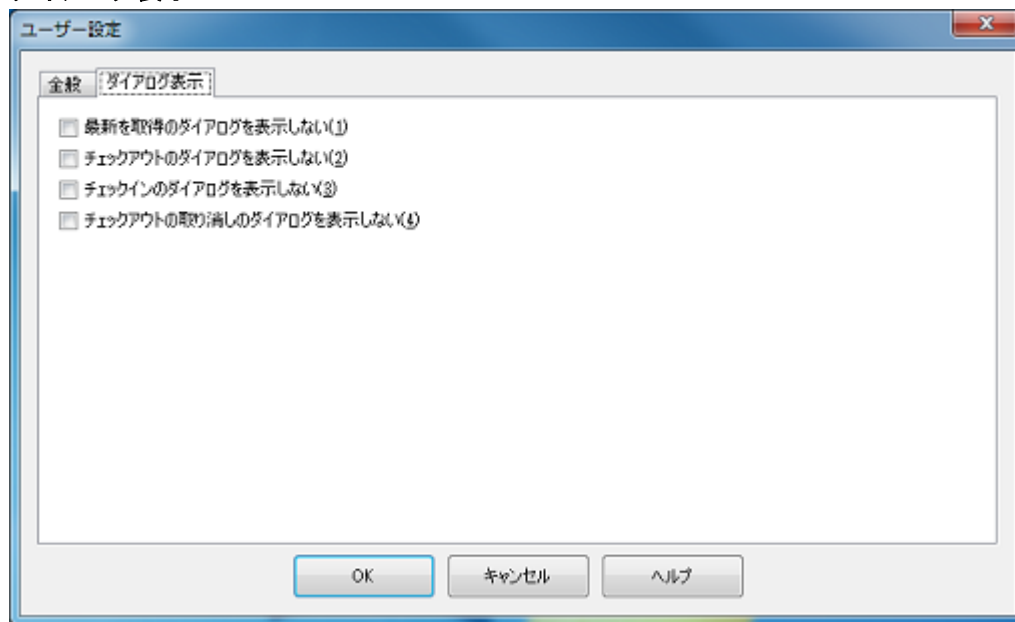
- **ダブルクリックの動作**
  ファイルをダブルクリックした時の動作を[直接編集]、[最新を取得して表示]、[チェックアウト編集]から選択します。

- **ファイルリスト**
  検索タイムアウト
  　検索時のタイムアウト時間を設定します。30~3600 秒までの値を設定することができます。

  サムネイル制限数
  　サムネイル表示可能なファイル数を設定します。最大 5000 件まで設定することができます。

  リスト表示制限数
  　リスト表示可能なファイル数を設定します。最大 50000 件まで設定することができます。

- **検索条件の初期設定**
  検索結果をツリー表示にする
  チェックを入れてツリー表示する属性を選択すると、デフォルトで検索結果をツリーで表示できます。属性は参照ボタンをクリックして選択します。
  また、二種類の属性を選択ツリー表示する場合は、ツリー表示する属性にチェックを入れ、同様に二番目の属性を選択します。

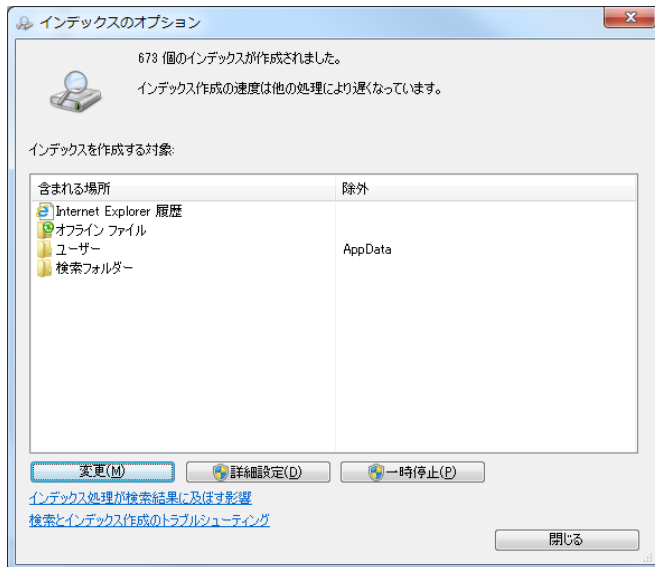
■　ダイアログ表示

- **最新を取得のダイアログを表示しない**
  最新を取得ダイアログを表示せずに、最新を取得コマンドを使用する場合にチェックを入れます。

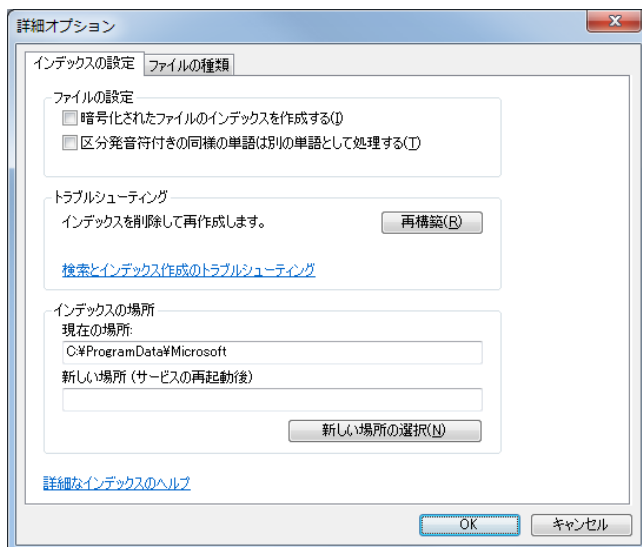
- **チェックアウトのダイアログを表示しない**
  チェックアウトダイアログを表示せずに、チェックアウトコマンドを使用する場合にチェックを入れます。

- **チェックインのダイアログを表示しない**
  チェックインダイアログを表示せずに、チェックインコマンドを使用する場合にチェックを入れます。

- **チェックアウトの取り消しのダイアログを表示しない**
  チェックアウトの取り消しダイアログを表示せずに、チェックアウトの取り消しコマンドを使用する場合にチェックを入れます。

インデックスのオプション

Windows サーチの インデックスのオプション ダイアログを表示します。

インデックスの作成方法については、8 ページの[**環境構築の手順**]をご参照ください。

■ 詳細設定

- **[再構築]ボタン**
  Search Manager が正常な検索結果を表示しない場合、インデックスの作成が正常に行われていない可能性があります。
  [再構築]ボタンを押すと、インデックスを再作成します。
  ただし、インデックスの作成にはしばらく時間がかかることがあります。

- **インデックスの場所**
  インデックスデータを格納する場所を変更することができます。

システムの設定

Search Manger 全体の設定を行います。
システム設定は、複数のユーザーで共有することが可能です。

■ 全般

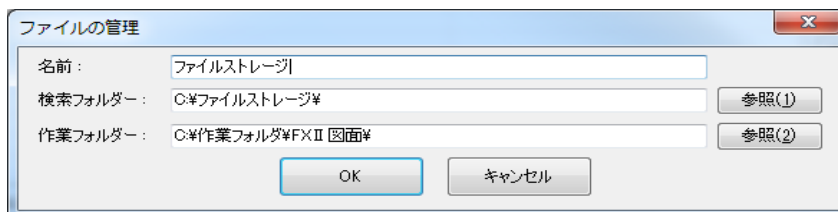
・ **システム設定ファイルの保存先**
[参照]ボタンをクリックして、既存のシステム設定ファイルを選択するか、別の場所に新規保存することができます。
これにより、システム設定ファイルをネットワーク共有フォルダー上に配置することで、複数のユーザーでシステム設定を共有することができます。

■ ファイル管理

・ **ファイル検索のみ**
Windows Search を使用したファイル検索機能のみを使用できます。
ファイル管理機能（チェックイン・チェックアウト）コマンドは表示されません。
検索先ファイルを直接編集するモードです。
（フォルダ登録で作業フォルダを登録する必要はありません）

・ **ファイル検索とファイル管理**
Windows Search を使用したファイル検索とファイル管理機能（チェックイン・チェックアウト）を使用できます。
検索先ファイルをローカルの作業フォルダにダウンロードして編集するモードです。
（フォルダ登録で作業フォルダを登録する必要があります）

■ フォルダ登録

・ **追加・編集・削除**
ファイル管理するフォルダーの「名前」「検索フォルダー」「作業フォルダー」を登録・編集・削除します。

・ **▲・▼**
登録フォルダーの順番を変更することで、フォルダーツリー表示の順番を変更することができます。

・ **日付検索の最小年月日**
ファイル日付で検索する際の最小年月日を指定します。小さい値にするとパフォーマンスが低下する場合がありますのでご注意ください。

・ **SolidWorks の参照パス変更時に更新日時を変更しない**
SolidWorks の部品ファイルを別のフォルダに移動すると、Search Manager は移動部品を参照しているアセンブリファイルの参照ファイルパスを更新して、参照関係を維持します。
その際、アセンブリファイルの更新日付を変更したくない場合、チェックを入れます。

・ **チェックイン時のコメントを表示する**

チェックを入れると、チェックインダイアログで入力したコメントが、表示されるようになります。

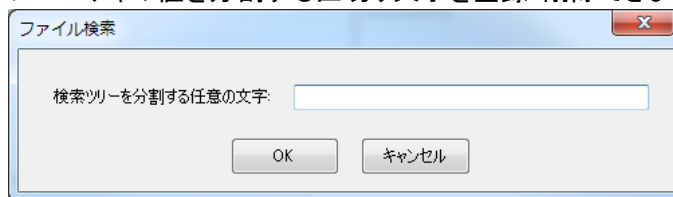
・ **チェックアウト時に読み取り専用にする**

チェックを入れると、チェックアウト時に検索フォルダー側のファイルを読み取り専用にすることができます。

■ **ファイル検索**

任意の文字を登録すると、登録した文字でプロパティの値を分割し、
それぞれ分割した値ごとにツリーを同じ階層上で並列に作成することができます。

・ **追加・削除**

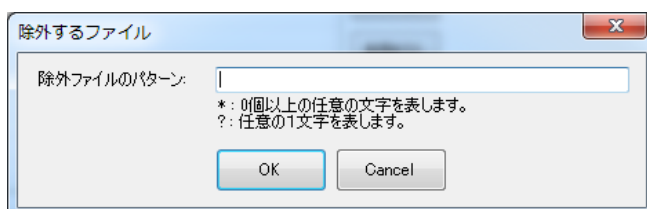
プロパティの値を分割する区切り文字を登録・削除できます。

■ **ファイル連携**

・ **拡張子によるファイルの連携**

［最新を取得］［チェックアウト］［チェックイン］などのコマンドの実行時に、同じフォルダーに存在する「連携する拡張子」に一致するファイルも同時に処理します。

■ **管理外ファイル**

・ **ファイル管理しないファイルパターン一覧**

Search Manager で表示しないファイル、処理しないファイルを登録・編集・削除します。

・ **隠し属性のファイルは、ファイル管理しない**

チェックを入れると、隠し属性のファイルは、**Search Manager** で表示・処理しなくなります。

・ **システムファイルは、管理しない**

チェックを入れると、Windows のシステムファイルは、**Search Manager** で表示・処理しなくなります。

■ **プロパティ定義**

・ **カスタムプロパティの名前 - 追加ボタン**

Office 系ファイルのカスタムプロパティや、SolidWorks ファイルのユーザー定義プロパティの名前を入力して、追加ボタンを押します。

登録したプロパティは、[ユーザー設定]にて、ファイルリストの列に指定することができます。

・ **カスタムプロパティの定義**

登録した Office 系ファイルのカスタムプロパティや、SolidWorks ファイルのユーザー定義プロパティの一覧が表示されます。

・ **ファイル管理プロパティの定義**

チェックアウト情報のプロパティ一覧が表示されます。

■ **注意事項**

・ 検索するフォルダーの数が多い場合、検索のパフォーマンスが低下する場合があります。
・ 検索フォルダーに、ネットワーク共有フォルダーやネットワークドライブを指定した場合は、ファイルサーバー側に検索用のインデックスを作成しておく必要があります。

SolidWorks 参照関係の再取得

この機能は、64bit 版 Search Manager のみの機能となります。

SolidWorks ファイルの参照関係を取得して、Search Manager のデータベースに登録します。

■ **コマンドの操作**

① システム設定で、フォルダ登録を行います。

② [オプション]-[SolidWorks 参照関係の再取得]を実行します。

■ **注意事項**

・ システム設定で、フォルダ登録を変更した場合には、再度 [SolidWorks 参照関係の再取得]を実行する必要があります。
・ 参照関係を格納したデータベースは、システム設定ファイルの保存先と同じフォルダに保存されます。
・ 取得した参照関係は、参照関係の維持に使用されます。

ヘルプ

Search Manager のヘルプを表示します。

ライセンス

Search Manager のライセンスを設定することができます。ライセンスの設定では、ライセンスの申請、登録、およびライセンス方法の切り替えができます。
ただし、ライセンス申請を行うには、インターネットに接続されている環境が必要です。
詳細は、12 ページの「**ライセンスの登録**」をご参照ください。

バージョン情報

Search Manager のバージョン情報を表示します。